

事業所名		るうと				支援プログラム（参考様式）				作成日		R7	年	2	月	26	日	
法人（事業所）理念		ともに生きる																
支援方針		成人期移行に、社会や人とのつながりを持ちながら、穏やかな生活を送れるようになるには思春期以降をどう過ごすかが大事だと考えます。中高生を対象として、意思決定の機会を取り入れた選択活動や、「好き」を見つけること、自尊感情を保ちながら相手を受け入れる事や感情のコントロールなど、様々なテーマに向かいます。																
営業時間			9	時		0	分から		18	時		0	分まで	送迎実施の有無		ありなし		
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	【心身の状態把握】…来所時の検温や身体状況、情緒面を確認し、放課後や余暇を穏やかに過ごせるように支援します。 【活動に合わせた部屋のレイアウト】…バレーボールのコートが余裕で張れるほどのホールがあり、雨天時でも身体を動かしたり気持ちを発散するための活動が可能です。また、着席課題に集中しやすい構造化された部屋、静養時に利用できる和室も備え、児童の状況に合わせた支援をしています。 【衣服の着脱】…着替え時は、職員が見守り、身だしなみの確認だけでなく、衣服の整理整頓までできるように促しています。																
	運動・感覚	【感覚活動】…視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの発達を促すような活動を取り入れています。 【運動】…サーキットやボールを使った遊び、ヨガなど、身体を動かす活動を取り入れています。 【ミュージック・ケア】…ミュージックケアの研修を受講している職員が、静と動を取り入れたプログラムを考えて提供しています。																
	認知・行動	【時間の認知形成】…一日の活動スケジュールを示すボードと時計の文字盤を活用し、時間概念の形成を促す支援をしています。 【感覚の認知形成】…スライム、粘土、ダイラタンシーなどを使った遊びを通して、物質の変化と感覚の認知形成を促す支援をしています。 【感性の形成】…季節に応じた外出活動を取り入れ、感性の広がりを促していけるように支援しています。																
	言語コミュニケーション	【コミュニケーション手段の選択・活用】…写真や絵カード、文字、記号など、コミュニケーション手段を獲得できるよう支援します。 【意志表出・意志決定】…活動を自分の気持ちに合わせて選択できるようにし、意志表出・意志決定の機会を設けています。 【プレゼンテーション】…始まり・終わりの会や課題活動でリーダーを設定し、仲間へプレゼンテーションを行う機会を設けています。																
	人間関係社会性	【自尊心の獲得】…職員と1対1で対話できる機会を設け、安心できる人の存在から自尊心へつなげていけるよう支援します。 【他者との関わり】…小集団での遊びやルールのある活動を通して、感情のコントロールや他者とともに過ごす力の獲得へ繋げていけるように支援します。 【地域交流】…公的施設や乗り物を活用する機会を設け、マナーの獲得だけでなく、地域の人たちと関われるように支援します。																
家族支援		・日々の活動報告を対面で行う中で、家庭での事や悩みなど相談に応じます。 ・行事を通して、家族どうしのつながりを作れるように支援します。								移行支援		・学校への訪問や情報提供、ケース会議、卒業後の利用事業所（生活介護・就労支援）との移行支援会議などに参加しています。						
地域支援・地域連携		・併用している放課後等デイサービス事業所や相談支援事業所との小まめな情報交換を行い、過ごす環境によってギャップが生まれないように連携して支援します。								職員の質の向上		・外部機関の実施する研修だけでなく、講師を招いた職場内での自主研修や事例検討会を行い、スキルアップを図っています。						
主な行事等		・季節に合わせた活動（ハロウィン、クリスマス、節分…等）を取り入れ、子どもたちが仲間とともに過ごすことで豊かな感情を育めるように支援しています。 法人行事や地域イベント等に希望者を募って参加することもあります。																